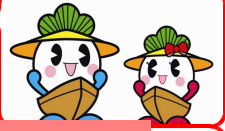




ふるさと笠松の「ちょっといい話」No.90



「笠松町の未来を切り開く新成人は229人！」

1月11日(日)の午後1時から笠松町の新成人の集いが中央公民館の大ホールで開催されました。新成人の集いは2部構成で実施され、第1部はセレモニーでした。第2部は新成人が企画したイベントです。恩師に新成人と一緒に歌を歌ってもらうとか、舞台をドライアイスの雲で埋め尽くすとか、小・中学校などの思い出を映像で振り返るなどのいろいろなサプライズ企画が考えられていて、厳かな中にも楽しい集いでした。参加したどの新成人も成人になった重みをきっと自覚したことでしょう。今年の新成人の特徴は、「親や友人への感謝の気持ち」が例年より大きいことのようにです。

さて、この素晴らしい新成人の集いを企画・運営したのは6人の「新成人の集い実行委員会」の皆さん(下の写真↓)です。そのリーダーである廣田 素子さんにインタビューをしました。



廣田 素子 実行委員会リーダー

- ★どんな集いにしたいですか? ○笠松らしく堅苦しくなくみんなが笑える集いにしたい。
- ★今、一番伝えたいことは? ○笠松にはよい仲間がいます。これから先も私のふるさと笠松一つです。導いてくださったご縁を大切にしていきたいと思ひます。



「新成人の集い実行委員会」の皆さん

(↑田島・中畑・箕浦・岩田・廣田・奥田の各委員)



かさまるくんたちもお祝いに来ました。



真剣に来賓の方々のお話を聞いていますね。



新成人の態度から笠松の未来は明るいと言えそうです。

平成27年の笠松町の「新成人の集い」の写真



↑ 中央公民館の玄関はミニ同窓会



↑ 久しぶりの再会に「話に花」が咲きます。



↑ 乾杯 「新成人に幸多かれ」



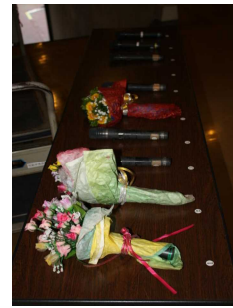
↑ ロビーのモニターテレビで集いを視聴



↑ 映像で思い出を振り返る。



↑ 素敵な新成人の笑顔



↑ 10本ものマイク



創造集団 Do の方は2階でも活躍 感謝